

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和5年6月30日（金）

2 確認箇所

5・6号機敷地護岸ヤード

3 確認項目

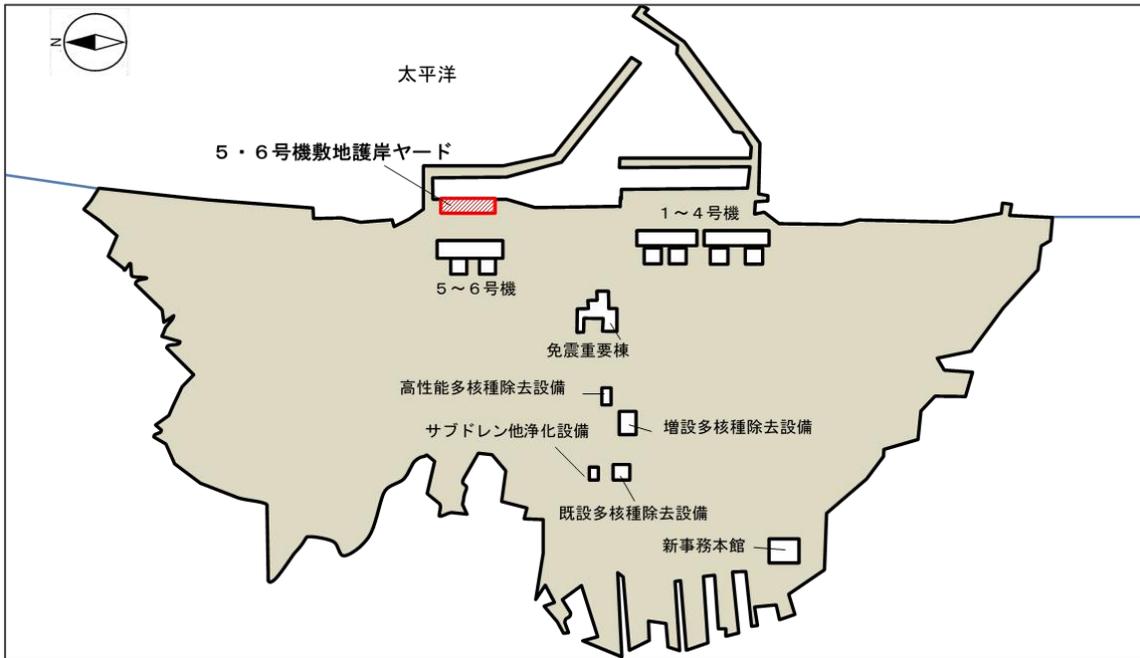
多核種除去設備等処理水希釈放出設備及び関連施設の使用前検査の状況

4 確認結果の概要

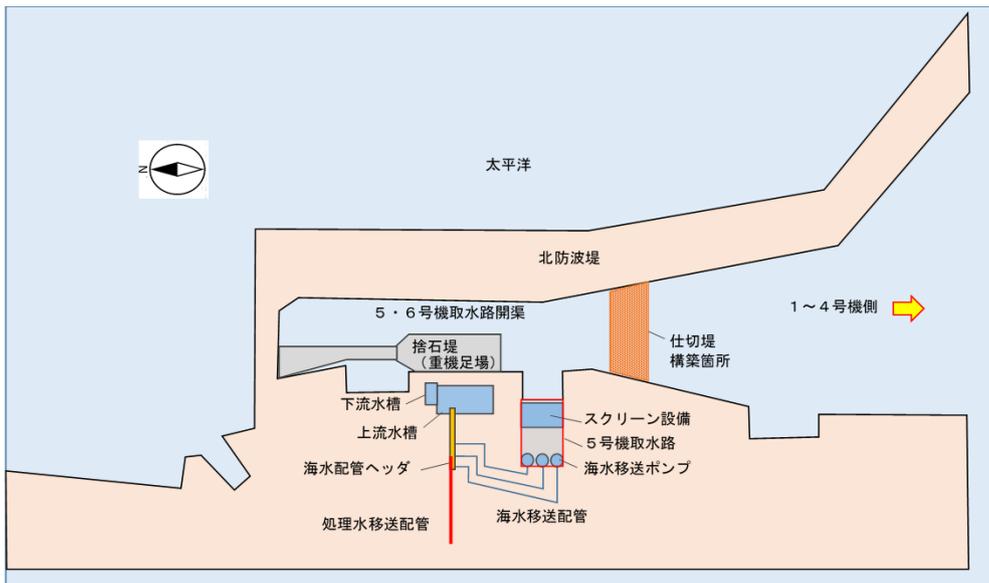
多核種除去設備により、汚染水から放射性物質（トリチウムを除く）が安全に関する規制基準を確実に下回るまで浄化されていることを確認した水（以下、「ALPS処理水」という。）は、トリチウム濃度が規制基準を厳格に遵守するだけでなく、政府の基本方針に基づき、1,500Bq/L未満を満足する濃度になるよう、海水で大幅に希釈され、海洋へ放出される計画となっている。

本日、核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律に基づき、ALPS処理水希釈放出設備及び関連施設のうち、「希釈設備（放水立坑（上流水槽））・放水設備（放水立坑（下流水槽）」について、東京電力が原子力規制庁による使用前検査を受けていたことから、その状況を確認した。（図1及び図2）

- ・放水設備は海水によって希釈された処理水が上流水槽から下流水槽へ流れ込む構造となっており、本日は海水移送ポンプで海水を汲み上げ、下流水槽まで通水される状況を確認していた。（写真1）
- ・原子力規制庁の検査官は、水が上流水槽に流れ込む箇所において、通水状況を確認していた。（写真2）



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(図2) 5・6号機敷地護岸ヤード付近の概要図



(写真1)

下流水槽の状況

(写真左手にある上流水槽から下流水槽へ流れ込んでいる)



(写真2-1)

上流水槽上側の状況

(水色の配管から赤矢印の方向に流れ込む構造)



(写真2-2)

上流水槽上側において使用前検査を実施している状況

(水が白いシートの下の上流水槽へ流れ込む様子を確認していた。)

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。